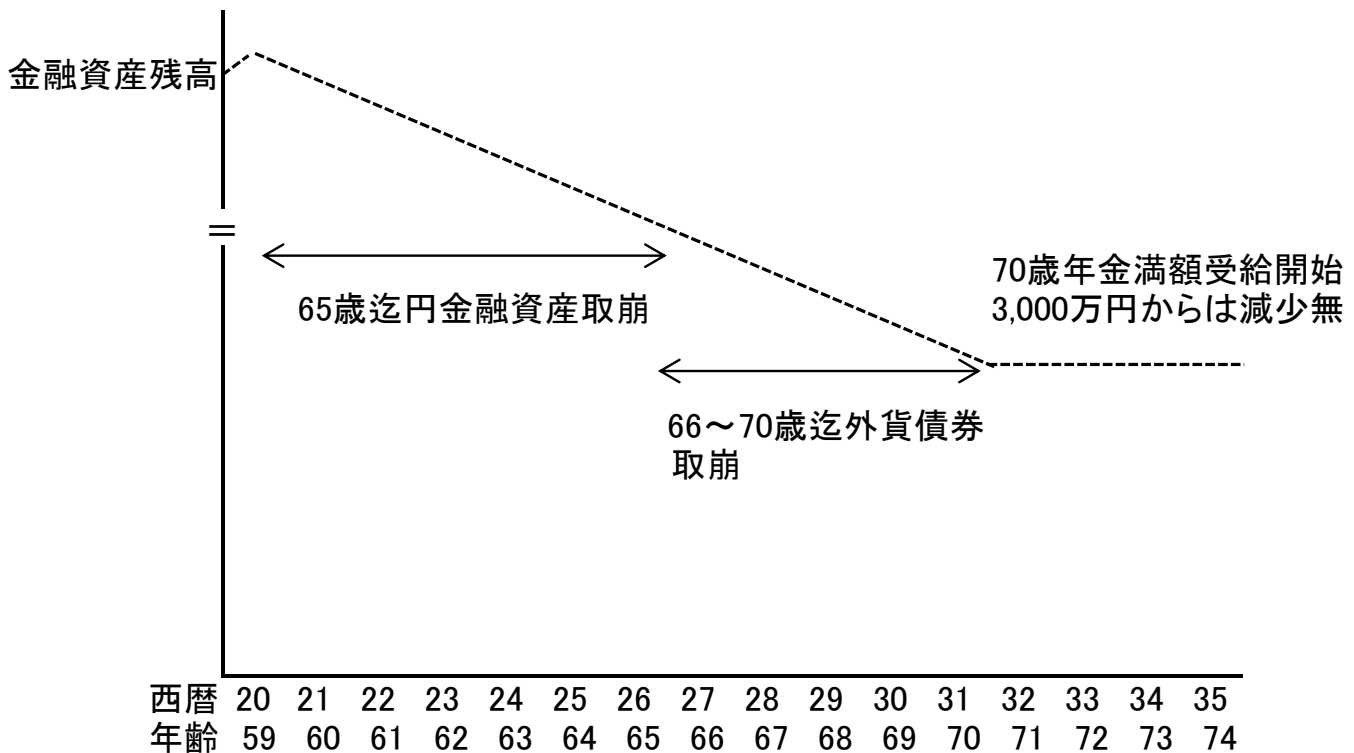


# 金融資産残高推移イメージ図



今年年初と現在の70歳時金融資産残高の構成が、下記に変わってきている。変わった理由は税・社会保険の変化と知識インプット、株売買、債券満期償還の実体験からである。

## 70歳時金融資産内訳

項目	今年年初	現時点	備考
現金	7% 210	現金 200	
金	7% 210	金 200	安い時に買って高い時に売る
債券	40% 1,185	債券 700 米国債 600 MMF 100	主に短期債で状況により、MMFで運用となる
株	47% 1,395	株 800+ $\alpha$ 投信+ETF $\alpha$ EDV 400	投信は毎月積立、ETFは主に成長投資株 安い時に買って高い時に売る
計	3,000	3000+ $\alpha$	

定年時より今年年初の金融資産残高は多くなっている。要因は色々あると思うが、70歳時の金融資産残高も予定(目標)より、多くなりそうである。

そこで、株以外は必要額として、株には上振れ分を全て充てたのだ。年金受給後は金融資産の取崩はない。(実際は配当金等を旅行費に充てるのだが)しかし、株価暴落時はこころ穏やかではない。その時に株価と逆相関となる金融資産があると、精神的な負荷はなく合理的な判断ができる。